



問合せ先
第八管区海上保安本部海洋情報部
監理課長 三原 修一
0773-75-7373 (直通)
0773-76-4100 (内線 2511)



第八管区海上保安本部
平成20年8月28日

「海の地図展 in 舞鶴」開催！！

第八管区海上保安本部では、海上保安庁60周年事業の一環として、また、第137回水路記念日(9月12日)の記念行事として、9月6日から11日にかけて海図や伊能忠敬の地図(伊能図)、電子海図等を展示した「海の地図展 in 舞鶴」を開催します。

1. 概要

平成20年9月12日は、海上保安庁海洋情報部の前身である兵部省海軍部水路局が明治4年(1871年)7月28日(旧暦)に設立されてから137周年目の記念日です。

明治4年に創設されてから長い歴史のある海洋情報部ですが、現在、第八管区海上保安本部海洋情報部では、最新技術による海洋調査の充実、海図など航海安全のための情報の整備、またマリンレジャーを安全に楽しんでいただくために、離岸流に関する情報やプレジャーボートでの航海をサポートする「ヒヤリハット情報図」などの安全情報を提供しています。

今回、海洋情報部が作成している海図などを知っていただくために、以下のとおり「海の地図展 in 舞鶴」を開催します。なお、9月6日(土)、7日(日)の両日は、歩いて距離を測る「歩測競技」などのユニークなイベントも実施します。

2. 期間・場所等

(1) 期間

平成20年9月6日(土)～11日(木)

6日	午後 1時～午後6時まで
7～10日	午前10時～午後6時まで
11日	午前10時～午後4時まで

(2) 場所

舞鶴市西市民プラザ1階ふれあい広場

住所 舞鶴市字円満寺158番地6

(3) 行事内容

- ① 伊能忠敬作成の「近江若狭・越前加賀（複製図）」、明治以降における舞鶴港の発展の様子が分かる新旧の海図（6図）等の展示
- ② 舞鶴港を航行する電子海図のデモストレーション
- ③ 海上保安庁の歴史がわかる写真パネル展
- ④ 臨時 海の相談室開設 ※
- ⑤ 歩測競技（参加者及び競技優秀者にプレゼントを配布）※
- ⑥ 実体視鏡を用いて空中写真（航空写真）を立体視 ※

※ ④⑤⑥については9月6日と7日のみ実施

《参考》

・歩測競技

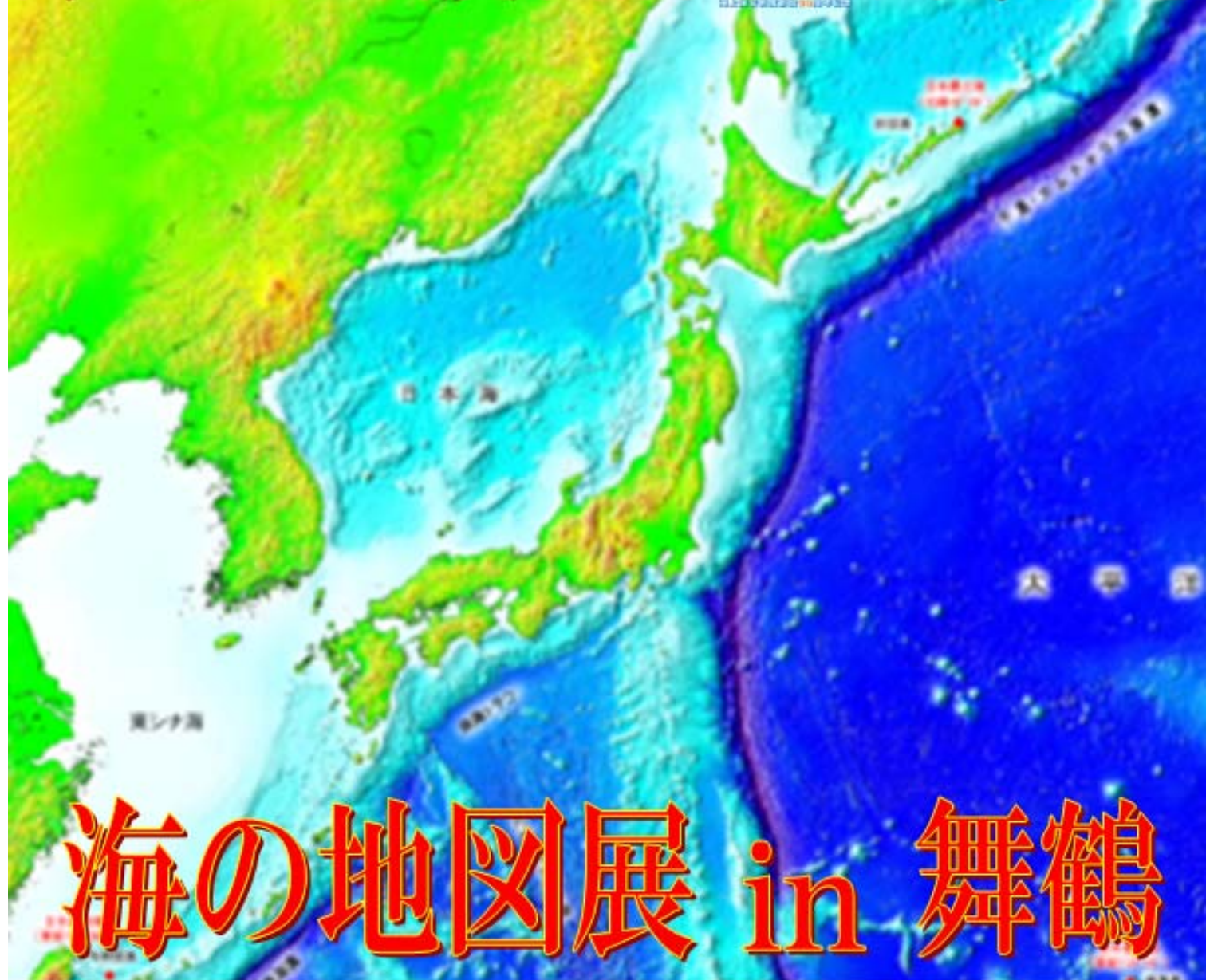
歩測とは、自分の体を「物指し」にして距離を測ることをいい、伊能忠敬は日本全国を歩いて距離を測って地図を作成しました。

今回は、自分の歩幅使って正確に距離を測る競技を行ってまいります。

・海洋情報部年表概要

暦年	主要事項
明治4年（1871年）	兵部省海軍部に水路局設置（現在の海洋情報部の前身）
明治5年（1872年）	陸中國釜石港之図発行（日本人のみの手による海図第1号）
明治20年（1887年）	海図第222号「舞鶴港」刊行
大正6年（1917年）	千島列島の測量完了し、領土沿岸測量一段落する
大正13年（1924年）	測量艦「大和」により日本海中央部に大和堆を発見（433m）
昭和22年（1946年）	南海大地震影響海域の調査開始
昭和23年（1948年）	海上保安庁創設により海上保安庁水路局となる（海保の組織下に入る）
昭和27年（1952年）	明神礁を調査中の測量船「第五海洋丸」（290t）が海底火山の爆発により遭難（31名全員殉職）
昭和58年（1983年）	大陸棚調査開始
昭和59年（1984年）	測量船「拓洋」がマリアナ海溝の世界最深部の測定を行い10,924mの値を得た（現在の世界最深部の確定値は10,920±10m）
平成6年（1994年）	電子海図刊行
平成14年（2002年）	海上保安庁海洋情報部となる
平成20年（2008年）	大陸棚調査の完了

海上保安制度創設60周年記念



海の地図展 in 舞鶴

展示日時

平成20年9月6～11日

(6、7日はイベント開催！！)

各日午前10時～午後6時

(6日は午後1時から、11日は午後4時まで)

展示場所

舞鶴市西市民プラザ1階ふれあい広場

(住所 舞鶴市字円満寺158番地6)

(入場無料)

展示物

海上保安庁の歴史、伊能図、各海図、
電子海図など



問い合わせ先



第八管区海上保安本部 海洋情報部(0773-75-7373)